



1 法華口駅

播州鉄道開設時(1915年)から約100年の歴史を語る駅。法華山一乗寺や海軍航空隊の入口駅として栄える。



2 姫路海軍航空基地跡の爆弾庫跡

太平洋戦争時機銃弾、爆弾等の保管場所として使用され、頑丈なコンクリートは今なお強度を保つ。



3 素堀防空壕跡

素掘りの防空壕が残るのは日本でも珍しい。内部はコの字形に曲がり別の入口につながる。危険なので進入禁止。



4 防空壕跡

太平洋戦争末期に敵戦闘機の攻撃を回避するためにコンクリート構造で爆風に配慮された通路と内部は凸型に屈曲しており、2箇所との出入口でつながる。



5 航空隊飛行科の地下飛行指揮所跡

昭和20年に入り敵戦闘機の攻撃が予測される時、この場所で指揮をとった。防空壕の中では戦闘機の模型や現物のタイヤ、写真などが展示され、戦争関連映像も見られる。



6 鷓野飛行場跡

鷓野飛行場跡は、太平洋戦争が悪化しはじめた昭和18年に完成した、優秀なパイロットを養成するための旧日本海軍の飛行場跡。戦闘機『紫電・紫電改』の試験飛行に使用され、日本で現存するのはここだけ。



鷓野飛行場跡・防空壕探検ハイキングマップ

所要時間 約70分

距離 約3km

- 1 スタート 法華口駅
- 2 爆弾庫跡
- 3 素堀防空壕跡
- 4 防空壕跡
- 5 地下飛行指揮所跡
- 6 鷓野飛行場跡
- 7 平和祈念の碑
- 8 ゴール 機銃座跡

● 爆弾庫 ■ 防空壕 ▲ 機銃座



7 鷓野平和祈念の碑苑

戦後54年を経た平成11年に至り、旧海軍関係者、地元有志が協力し、特異な歴史的背景を持つ鷓野飛行場跡を貴重な歴史遺産として後世に伝えるとともに、尊い犠牲の上に築かれた今日の平和が、永遠に続くことを祈念し、鎮魂の想いを込めて、建立した。



8 機銃座

戦時中は25mm連装機銃を装備し、飛行場の空を守っていた。戦後、長年放置され土砂が堆積し地下の弾薬庫は水浸しになっていたが、地元住民や自衛隊青野原駐屯地の隊員らが協力し、掘り起こされました。

加西市鷓野平和祈念の碑苑保存会